

那珂川だより

那珂川緊急治水対策プロジェクトに盛り込まれた河川対策の進捗やソフト対策の検討状況をお知らせします

令和3年4月
第10号



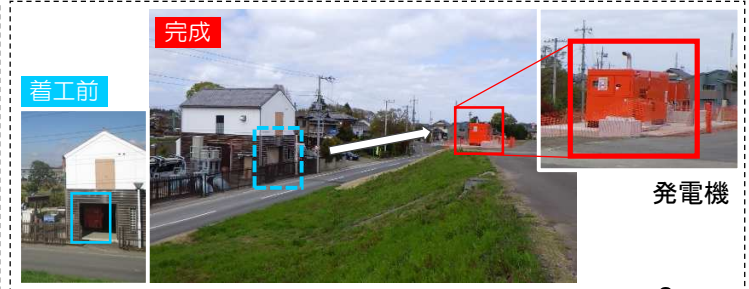
編集・発行
国土交通省 常陸河川国道事務所

災害復旧工事（機械設備）

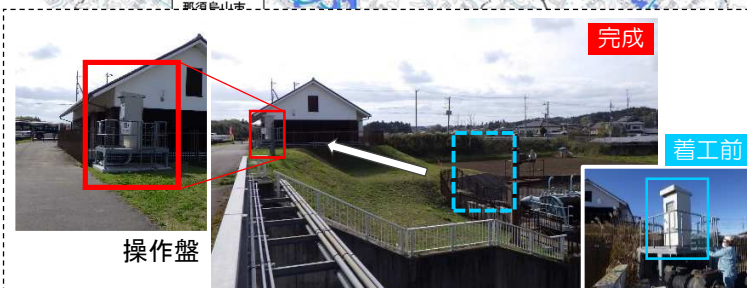
○令和元年東日本台風による出水で、浸水被害を受けて故障した排水施設の操作盤や発電機などを修理・更新するとともに、浸水しないよう高い箇所への移設を行っていた機械設備関係の災害復旧工事が完成しました！



境川排水機場：操作盤の移設



鳴戸川排水機場：発電機の移設



西田川排水機場：操作盤の移設

| | |
|-------------|--------|
| 【凡例】 | 浸水範囲 |
| ✕ 堤防決壊箇所(国) | 大臣管理区間 |
| ✕ 堤防決壊箇所(県) | 工事箇所 |

出前授業を行いました【茨城県立水戸工業高等学校 土木科1年生40名】

○令和元年東日本台風時の被害や災害対応、プロジェクト進捗の状況について、写真や施工業者のコメントを交え説明を行いました。
また、最新の情報通信技術による無人航空機（ドローン）の操作やウェアラブルカメラ等を使った遠隔臨場等の体験をして頂きました。
○参加した生徒からは「河川の氾濫場所を分担し夜間にも復旧作業を行い、私たちは沢山の人手と苦勞で守られていることが分かった。」といった感想が寄せられました。



プロジェクトの進捗状況説明

水害に関する防災授業を実施しました

- 常陸河川国道事務所では、水害に関する防災教育や防災知識の普及の取組として、水戸市立下大野小学校、水戸市と連携し、下大野小学校版「水害に関する防災教材」を作成しました。
- 今回、その教材を用いた防災授業が下大野小学校において実施されました（令和3年2月～3月の期間に各学年にて実施）。
- 今後は、この教材を他小学校に水平展開することにより、子ども達だけでなく、子ども達を通して各家庭・地域に水防災意識が浸透することが期待されます。

防災教材は電子黒板などに投影して視覚的にわかりやすく伝えられるようにパワーポイント形式で作成されています



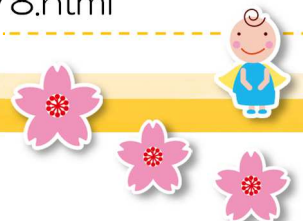
「水害に関する防災教材」を用いた授業の様子
(令和3年3月19日)

久慈川・那珂川水系流域プロジェクトを策定しました

- 令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備えるため、流域全体を俯瞰し、国、流域自治体、企業等のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進していくことが必要となります。
- 久慈川・那珂川流域では、河川管理者に加え、県、市町村等の関係者が一堂に会する、久慈川・那珂川流域治水協議会を令和2年8月に設置し、関係機関（協議会構成員数：37）が協働して流域治水プロジェクトを作成し、令和3年3月30日に「久慈川水系流域治水プロジェクト」及び「那珂川水系流域治水プロジェクト」を公表しました。
- 久慈川・那珂川水系流域治水プロジェクトでは、河川管理者が行う河川改修に加え、久慈川では霞堤の整備と保全など、那珂川では土地利用・住まい方の工夫などを推進します。
詳しくはWEBで・・・ <https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/hitachi00878.html>

コラム 桜川

- 水戸駅から近い桜川は、普段、通勤や通学、散歩、ジョギングなど、多くの人が行き交っていますが、桜の季節は兩岸に植えられた桜がきれいに咲き、多くの人々が足を止めていました。
- 桜川の名前の由来は、後にお伝えすることにしますが、桜川は、那珂川の支川で、笠間市の朝房山に源を発し、千波湖を経て那珂川に注ぐ、延長12.9kmの河川です。昭和25年度に那珂川との合流点の引き下げや那珂川からの逆流緩和のための築堤工事などを開始し、その後、護岸工事や樋管、橋梁等の関連工事を継続して実施し、昭和51年度までに改修工事が概成しました。



【昭和31年11月】
水戸市により、旧下市地区振興策の一環として桜川兩岸に桜苗木160本を植樹



国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所 調査第一課
TEL:029-240-4069



〒310-0851
茨城県水戸市千波町1962-2

プロジェクトに関するお問い合わせはこちらです

常陸河川国道事務所

検索

